

多機能フィルター

【製品概要】

法面土壌侵食防止植生緑化用資材

県
活
用
方
針

従来品より機能が優る「やまぐち発新製品」

【優れた機能が発揮できる工事現場】

○設計段階で植生工を計画する盛土法面（構造物でないこと）

○内カーブ等、雨水が集中し、法面の侵食の危険性が高い箇所

山口県では、上記の条件に該当する箇所において当製品を指定して発注しています。（上記以外の箇所についても、活用可能としています。）

多機能フィルターとは

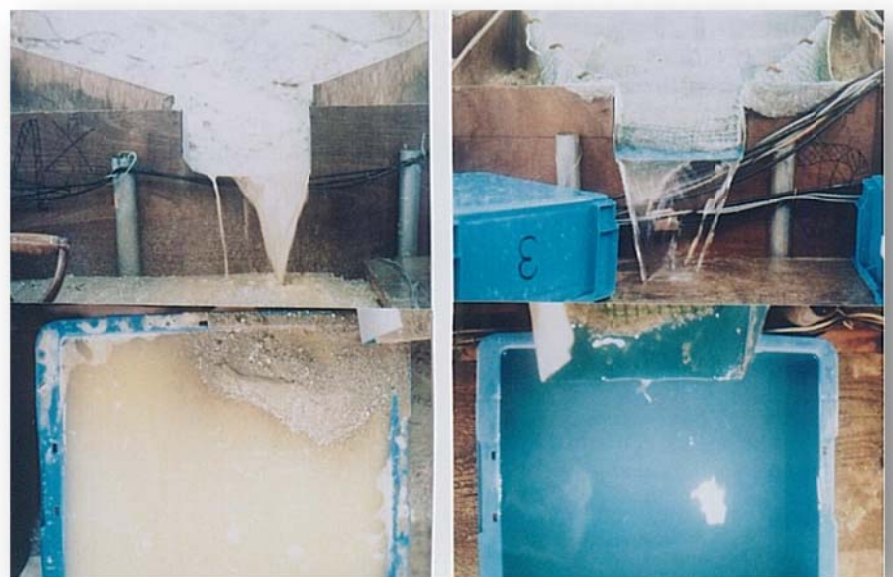
「多機能フィルター」を貼った直後から、法面が植物で繁茂していない状態でも

- ① 雨水による侵食防止 →ゲリラ豪雨による土砂の流失・濁水の発生抑制
- ② 地表面の温度変化の緩和および保湿 →水分不足による夏枯れ抑制
- ③ 寒冷地の土砂のり面での凍上現象の緩和 →凍上による斜面崩壊の抑制
等を図ることができる

法面を保護する土壤侵食防止機能を持った養生マット、植生マットです。



人工降雨実験風景



一般のシート 多機能フィルター

最大1時間雨量100mm・10分間の濁水発生状況（国立防災科学技術研究所）

【製造者】多機能フィルター株式会社

<山口県内採用事例①>

公共工事地産地消推進モデル事業(土木建築部) 評価結果
(平成22年3月評価)

製品等の製品名	多機能フィルター *20
企業・事業者名	多機能フィルター(株)
製品の概要	不織布による侵食防止機能で土壌を保護する機能を持った植生マット
認定等	<input checked="" type="checkbox"/> 認定等 <input type="checkbox"/> 認定リサイクル <input checked="" type="checkbox"/> 振興賞 <input checked="" type="checkbox"/> 新事業活動促進法
比較対象となる従来技術名	客土吹付工 1cm



A: 評価内容

	評価所見
I	【工程】 マット敷設工の1工程の為、繊維ネット工+吹付工に比べ工程の短縮ができる。
II	【機能】 ・敷設直後より被覆面を養生する事ができ、初期植生までの保護効果に優れた機能を有する。 ・降雨による、侵食防止機能に優れ、構造上種子の流失がない為、植生の安定性が向上し、敷設箇所の耐久性が向上する。
III	【安全性】 ・作業工程がマットの敷設のみであり、吹付工に比べ危険要因は少ない。 ・安定した植生が期待出来ることから、供用後の法面安定性に優れ安全性が高いと言える。
IV	【施工性】 工場生産製品であり、作業工程も少なく品質・出来形の管理品目は減少する。
V	【環境】 従来技術の吹付工に比べ、吹付材料の流失が無く、また濁水等の発生を抑制する為、周辺への環境リスクは軽減される。
VI	【経済性】 従来品と比較し同等であるが、期待される機能がこれを上回る。



施工後4年経過しており、導入種による1次緑化(芝草)から主構成種(木本類)への植物遷移を確認。植生、法面状況とも非常に良好である。

(H25年8月撮影)

B: 評価結果 →

優位性判定 満

C: 実施工事

年度	H21	番号	135	発注事務所	山口土木建築事務所
路河川名	(主)山口宇部線	工事名	道路改良(小郡トンネル)工事 第0工区		
工事場所	山口市小郡上郷~同市小郡下郷	工期	H18. 10. 11~H22. 1. 8		
請負者	飛島・フジタ・藤本工業・栗本JV	使用量	300m ²		

<山口県内採用事例②>



21年災補災道一般国道435号災害復旧(応急)工事

プレキャスト法枠内の中敷としてSP-45(種子、肥料なし)4,100m²使用。※無播種施工現場

H22年度山口県優良建設工事表彰工事



施工後、3年7ヶ月経過周辺郷土種による自然侵入促進型の緑化が進行中である。

木本植物の定着、育成を確認。

(H25年8月撮影)